

農業人口、5年で51万人減 - 平均年齢66歳、高齢化進む

共同通信社 [2015/11/27]

[PR]

農林水産省が27日発表した2015年の「農林業センサス」（速報値）によると、農業就業人口は209万人で、10年の前回調査に比べて51万6千人減少し、200万人割れに迫った。同じ定義で調査を始めた1985年と比較すると30年間で6割程度減ったことになる。平均年齢は0.5歳上昇して66.3歳。高齢化で農業をやめる人が多いのが原因だ。



田んぼの稲穂

環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意で、安い農産物が流入する可能性がある。このままでは就業者数の減少に歯止めがかからず、農業分野はさらに弱体化する恐れがある。

本記事は「共同通信社」から提供を受けております。
著作権は提供各社に帰属します。

朝デジ/+500円キャンペーン
今なら+500円! さらに全員にクオカード500円分プレゼント。12



ツイート シェア { 1 } ブックマーク { 1 } G+ { 0 } { 3 }